ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成２５年１２月１３日

各　位

会 社 名　　株式会社プロネクサス
代表者名　　代表取締役社長　上野 剛史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号　　０３－５７７７－３１４５

「第５回プロネクサス懸賞論文」受賞作品決定のお知らせ

株式会社プロネクサスは、資本市場の健全な発展に寄与することを目指し、平成 21 年から開始した「プロネクサス懸賞論文」を本年においても引き続き実施いたしました。このたび、受賞作品が決定いたしましたので、お知らせいたします。

「上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案」というテーマに対して、６本の論文の応募があり、審査委員会にて厳正かつ多面的に検討を行い、優秀賞１本、佳作２本の論文を選定いたしました。今回は、残念ながら最優秀賞は該当なし、となりました。

優秀賞は、円谷昭一著『外国人投資家の実像とディスクロージャー・ＩＲ』であります。本稿の目的は、外国人投資家は「もの言う株主」と特徴づけられ、「外国人持株比率が、外国人投資家による経営への規律付けの代理変数」としてしばしば使われてきたことに対して疑問を提示することにあります。

１本目の佳作は、井上隆文著『IFRS基準に基づいて作成された有価証券報告書を利用するにあたっての問題点』であります。本稿の目的は、日本基準からIFRS基準に変更した8社およびSEC基準からIFRS基準に変更した１社の有価証券報告書を対象にして、採用基準の移行に伴う開示の量、開示内容、会計数値（総資産、当期（純）利益、利益剰余金）への影響を分析し、IFRS基準採用時の開示に関する留意点を明らかにすることであります。

２本目の佳作は、飯尾英晃著『包括利益と表示通貨の選択問題の考察』であります。本稿の目的は、包括利益指標がB/S項目の為替換算の影響により毎期の企業業績指標として使用できないことを明らかにし、その解決のための提案をすることであります。

弊社では、来年度以降も引き続き本懸賞論文の実施を予定しています。５回目となる今回も充実した内容の論文が寄せられました。来年度も同じテーマおよび募集要領で第６回論文募集を行い、より多くの論文の投稿を期待しております。

記

【第５回審査結果】

最優秀賞　該当なし

優秀賞　　１本

円谷　昭一（つむらや　しょういち）（一橋大学大学院商学研究科　准教授）

「外国人投資家の実像とディスクロージャー・ＩＲ」

佳　作　　２本

井上　隆文（いのうえ　たかふみ）（東京大学大学院経済学研究科　修士2年）
「IFRS基準に基づいて作成された有価証券報告書を利用するにあたっての問題点」

飯尾　英晃（いいお　ひであき）　（京セラ株式会社経理部）
「包括利益と表示通貨の選択問題の考察」

【ご参考／第６回募集要項】

１．テ　ー　マ：上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案(但し、実証結果を出すための実証分析は不可。なお、提案を補強するための実証分析を論文の一部に含めることは可。また、ＩＲの具体的な表示方法等の工夫を提案することも可とする。)

２．応募締切日：平成26年9月20日（土）

３．応 募 資 格：40歳以下（平成26年9月20日現在）の日本在住の方。大学生・大学院生・研究者・一般社会人等。個人または共同執筆（2名まで）。

４．懸 賞 金 額：最優秀賞50万円（1本）、優秀賞30万円（1本）、佳作10万円（若干名）

５．審 査 方 法：下記の審査委員で構成する審査委員会で審査を行います。

委員長	慶應義塾大学商学部教授	黒川 行治
委員	早稲田大学大学院商学研究科 教授	小宮山 賢
委員	株式会社バリュークリエイト パートナー	佐藤　明
委員	青山学院大学大学院教授	多賀谷 充
委員	株式会社プロネクサス 代表取締役会長	上野 守生

（敬称略）

【お問合せ先】

株式会社プロネクサス プロネクサス総合研究所　懸賞論文係　原口（はらぐち）
ＴＥＬ：03－5777－3032（平日9:00～17:30）
E-mail：souken@pronexus.co.jp

◎ 詳細は、弊社プロネクサス総合研究所ホームページをご参照ください。
http://www.pronexus.co.jp/home/souken/index.html

以上